

文化と伝統

現代社会

憲法

政治

経済

国際社会

これから

今日の問い

文化は私たちの生活にどんなはたらきをし、異なる文化とどう向き合えばよいだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 文化のはたらき

科学・芸術・宗教

科学

自然や社会の法則を研究し生活を便利にする文化。

芸術

音楽や絵画などで心を豊かにする文化。

宗教

人間をこえたものを信じ生き方に関わる文化。

人が生み出し、受けつぎ、発展させてきた生活のしかたや考え方、技術などをまとめて**文化**という。文化には、おもに**科学・芸術・宗教**の3つの領域がある。科学は、自然や社会を研究して法則を見つけ、医療や交通、通信などを発達させて、生活を便利で豊かにしてきた。一方で、科学技術の進歩は、環境への負担や新しい倫理上の問題を生むこともあり、使い方を考えることが求められる。

芸術は、音楽や絵画、文学などを通して、人の感動や想像力を表現し、心を豊かにする。宗教は、人間の力をこえたものを信じる心のはたらきで、人々の生き方や考え方に深く関わる。世界には、イエスの教えにもとづく**キリスト教**、ムハンマドが伝えた**イスラム教**、ブッダの教えにもとづく**仏教**などがあり、日本でも初もうでや彼岸、お盆などの年中行事に宗教の影響が見られる。このように文化は、私たちが生きる意味や暮らしの決まりをかたちづくり、人と人を結びつける役わりも果たしている。

2 伝統文化と多文化共生

受けつぐ・認め合う

伝統文化

長い歴史の中で受けつがれてきた文化。

文化財保護法

1950年に定められた文化財を守る法律。

多文化共生

ちがいを認め合い対等に共に生きること。

長い歴史の中で受けつがれてきた**伝統文化**には、歌舞伎や能、茶道、年中行事、**和食**などがある。和食は2013年にユネスコの無形文化遺産に登録された。これらは地域の暮らしの中で育まれ、日本人の考え方や美意識を伝えている。国は1950年に定めた**文化財保護法**で貴重な文化財を守り、技をつなぐ**後継者**の育成にも取り組んでいる。地域の祭りや民俗芸能も、地域の人々が協力して守ることで、世代をこえて受けつがれている。

一方、文化は伝統だけでなく、時代とともに新しくつくり出されてもいる。日本で暮らす外国人が増え、さまざまな文化をもつ人が同じ地域で暮らすようになった。ちがいを認めて尊重し、対等な関係で共に生きる**多文化共生**が大切になっている。そのため、案内表示を複数の言語にしたり、わかりやすい**やさしい日本語**で伝えたりする工夫が各地で進んでいる。ちがう文化を知らないまま決めつけず、相手の考え方を理解しようとする姿勢が、文化のまぎつを防ぐ。

問いへの答え

文化には科学・芸術・宗教の領域があり、生活を便利にしたり心を豊かにしたり、生き方を支えたりするはたらきをもつ。私たちは伝統文化を受けついで守るとともに、外国の人も含めて文化のちがいを認め、対等に共に生きる多文化共生をめざす必要がある。相手の文化を理解しようとする姿勢が、文化のまぎつを防ぐ。ちがいを知ることは、自分たちの文化を見つめ直すきっかけにもなる。

次は ノート で、下線に語句を書きながら確かめよう →

